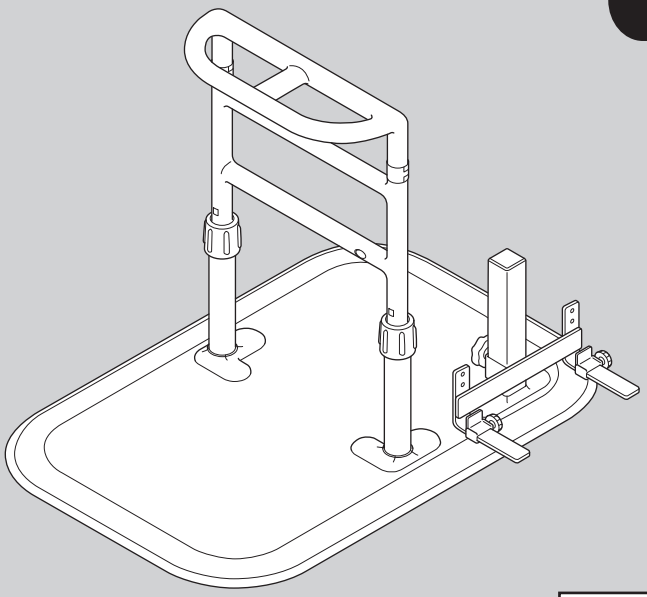
安寿（あんじゅ） ADLサポートバー

取扱説明書

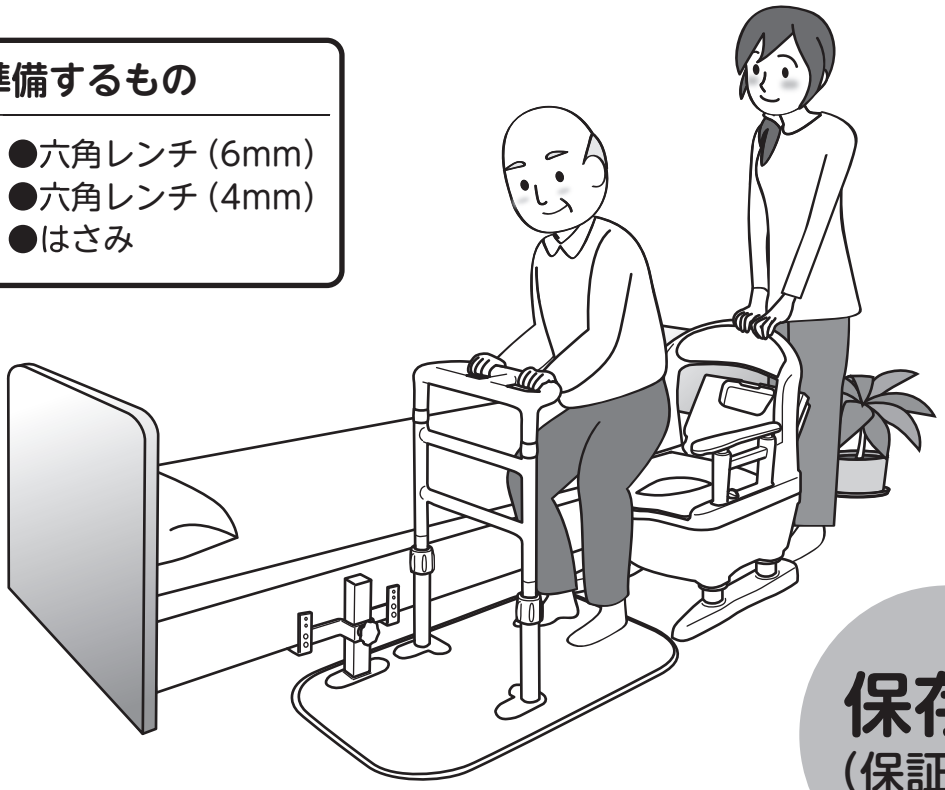


最大使用者体重：100kg

このたびはＡＤＬサポートバーをご利用いただき、まことにありがとうございます。
この製品は介護が必要な方もそうでない方もお使いいただけます。
正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書を必ずお読みください。

準備するもの

- ●六角レンチ（6mm）
- ●六角レンチ（4mm）
- ●はさみ



保存版
（保証書付）

ARONKASEI CO.,LTD.

もくじ

確認しましょう
P. 2〜3

・梱包品の確認……2
・各部の名称……2
・商品の寸法図と仕様……3

安全上のご注意
P. 4〜9

ご使用の前に
P.10 〜18

・取り付ける前に…… 10
・組み立てましょう…… 11
・取り付けましょう…… 15
・各部の調節をしましょう…… 17

使いましょう
P. 19 〜20

・ご使用になる前に…… 19
・使いかた…… 19
ポータブルトイレへの移乗…… 19
車いすからの移乗…… 20

お手入れしましょう
P.21 〜24

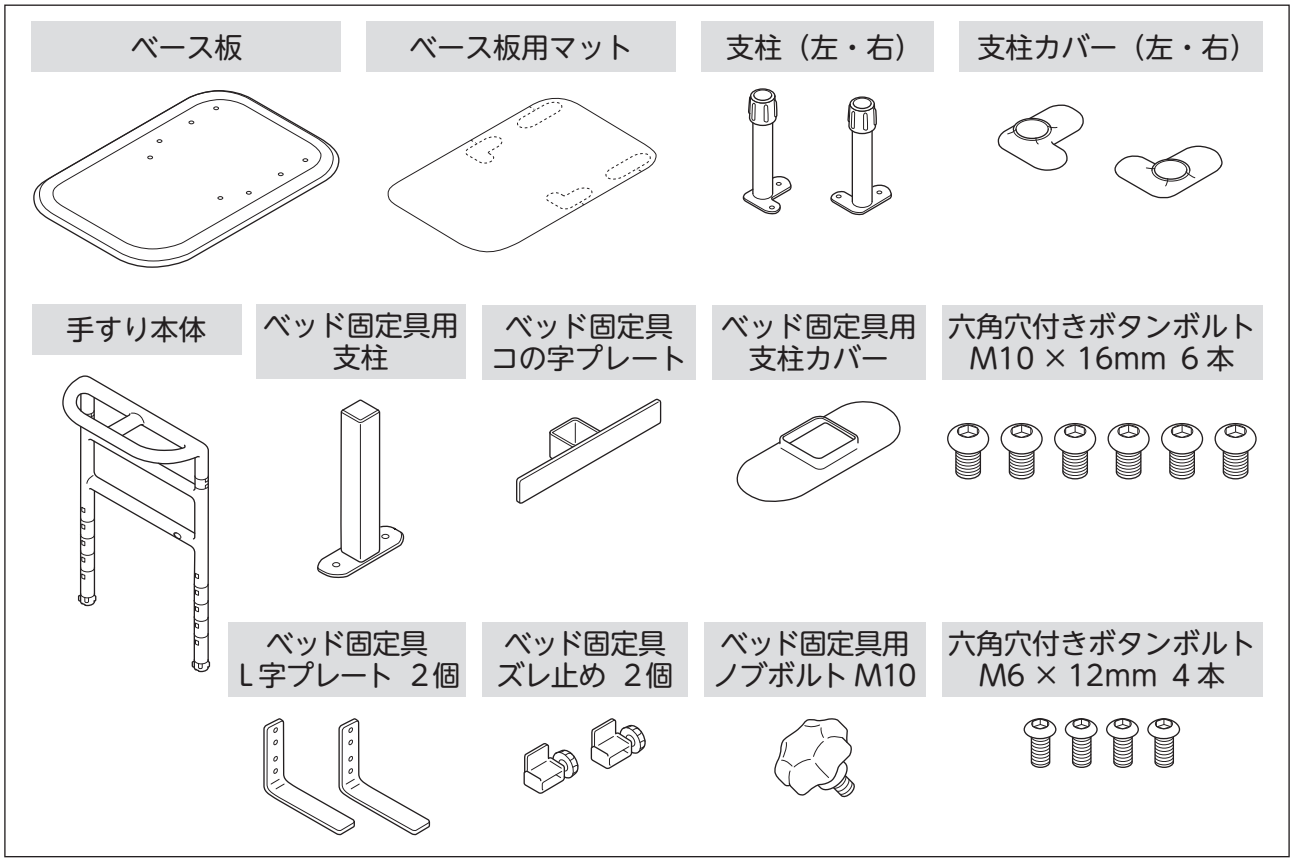
・お掃除のしかた…… 21
・点検のしかた…… 22
・交換部品…… 22
・U型上段手すりの交換方法…… 23

困ったときには
P.25 〜27

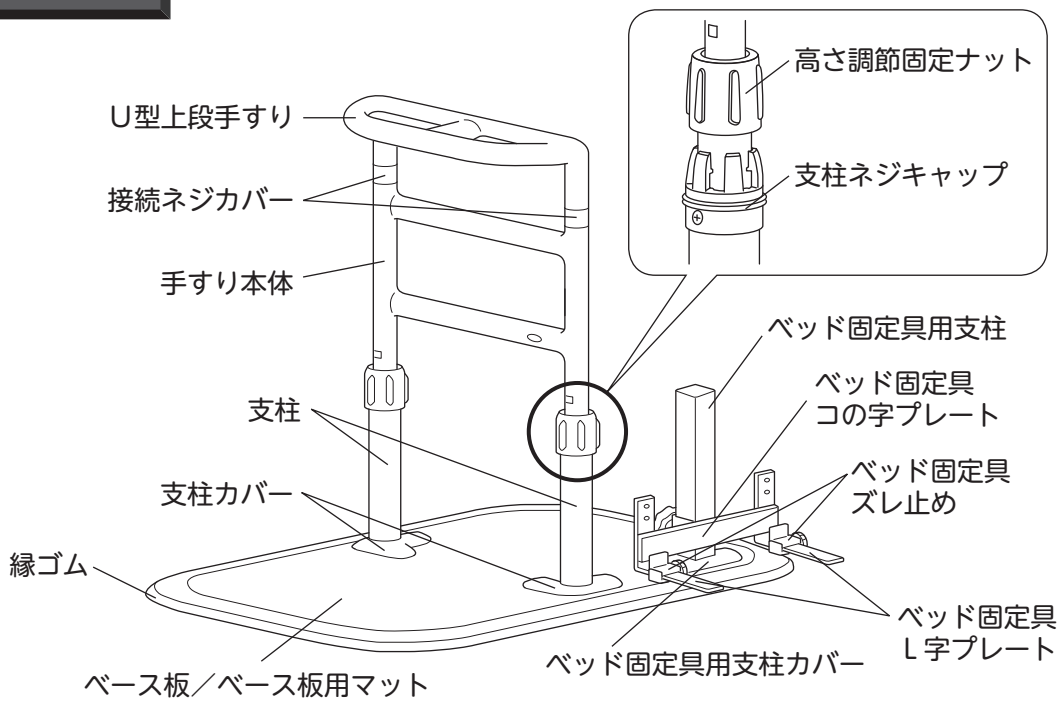
・保証とアフターサービス…… 25

梱包品の確認

梱包品が揃っているか、下のイラストを見ながら確認しましょう。



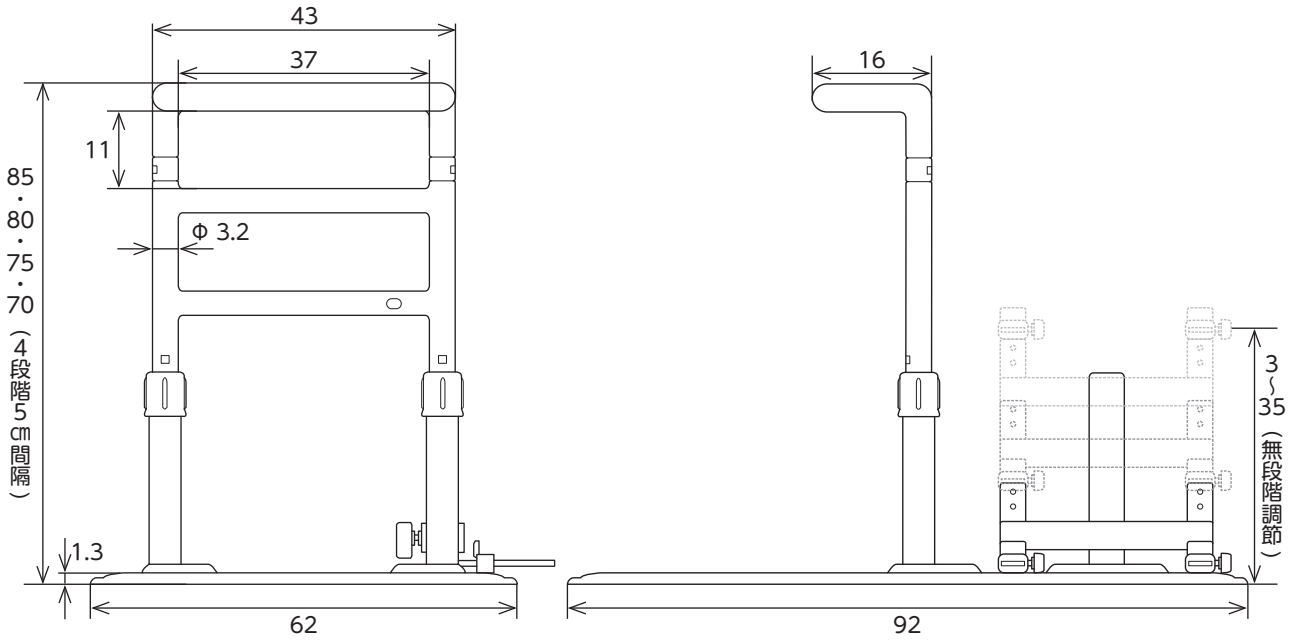
各部の名称



商品の寸法図と仕様

商品寸法図

単位：cm



仕様

品　　名	ADL サポートバー	
構成部材	部　品　名	材　　質
	U 型上段手すり	エラストマー／スチール（カチオン電着塗装）
	手すり本体	ポリプロピレン／スチール（カチオン電着塗装）
	ベース板 支柱（左・右） ベッド固定具用支柱 ベッド固定具コの字プレート ベッド固定具 L 字プレート ベッド固定具ズレ止め	スチール（粉体塗装）
	支柱カバー（左・右） ベッド固定具用支柱カバー	ポリエチレン
	高さ調節固定ナット 支柱ネジキャップ	ナイロン
	縁ゴム	シリコンゴム
	ベース板用マット	ポリエステル繊維（表面）／アクリル樹脂（裏面）
サ　イ　ズ	幅 92 ×奥行 62 ×高さ 70 ～ 85cm　U型上段手すり高さ　70･75･80･85cm（4段階）	
重　　量	約 27kg	

廃棄上のご注意　おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

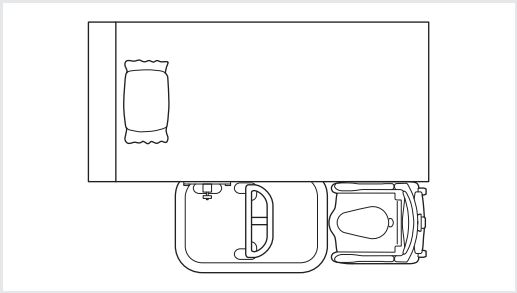
警告 誤った使いかたをすると**「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」**内容を説明しています。

必ず行うこと

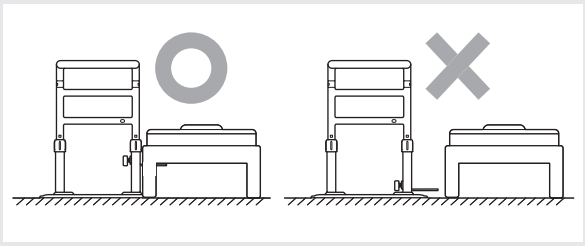
正しく設置すること

転倒やけがの原因になります。

・ベッドに対して平行に設置してください。
・ポータブルトイレはベース板に乗らないように設置してください。
・手すりは正しい方向に取り付けしてください。

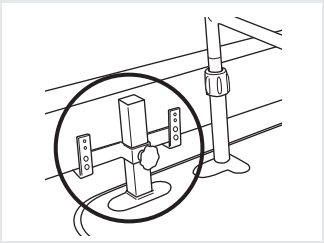


・手すり支柱とベッドとの間にすき間が無いように、ベッドに沿わせて設置してください。



・必ず、ベッド固定具をベッドサイドフレームに固定して設置してください。

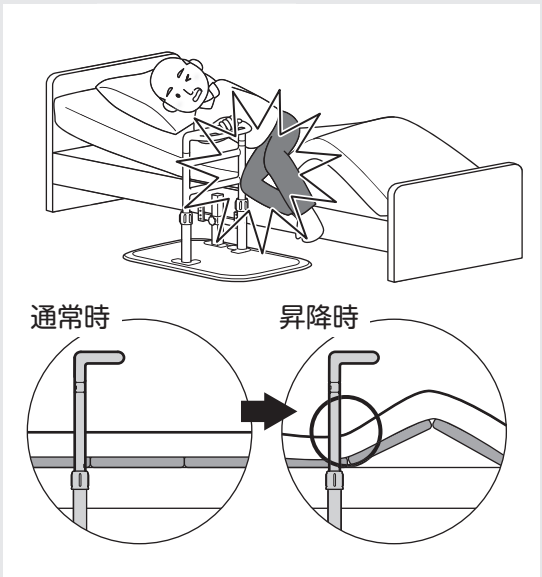
詳しくは…P.15へ



昇降機能のあるベッドで使用する場合は、利用者の体など各部位がはさまらないことを確認して設置すること

窒息やけがの原因になります。

・設置場所によってはベッド昇降時に手すりとベッドのすき間が小さくなります。
・設置の際には昇降機能の可動範囲を確認し、昇降機能を使用した際にも安全に使用できることを確認してからご利用ください。



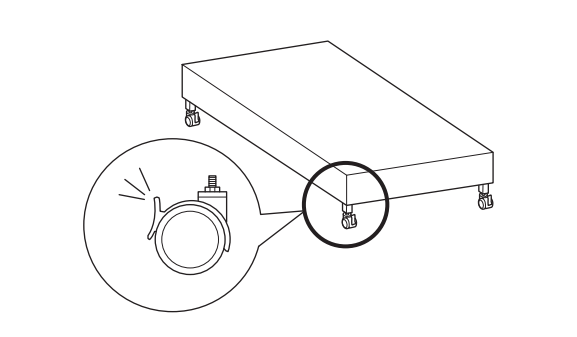
警告

誤った使いかたをすると**「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」**内容を説明しています。

必ず行うこと

キャスター付きのベッドは、キャスターをロックすること

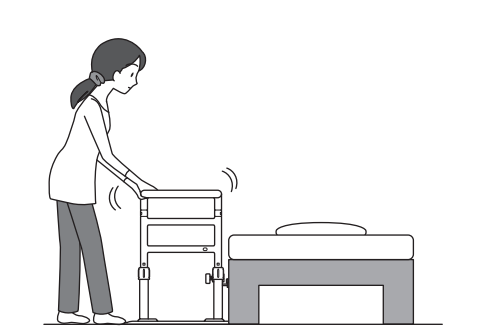
転倒やけがの原因になります。



毎回ご使用前に製品を前後左右にゆらしてガタつきがないか確認すること

製品が外れて、けがの原因になります。

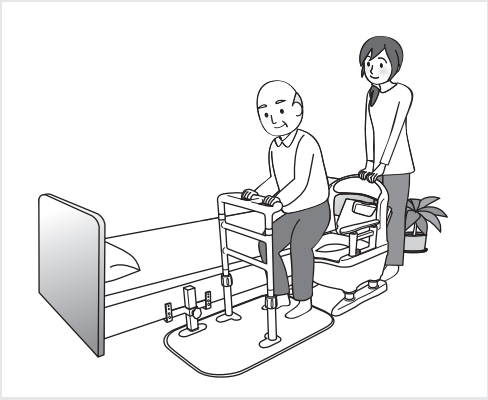
点検方法は…P.19 または、添付のご使用前点検シートをご確認ください。



安全な使いかたをすること

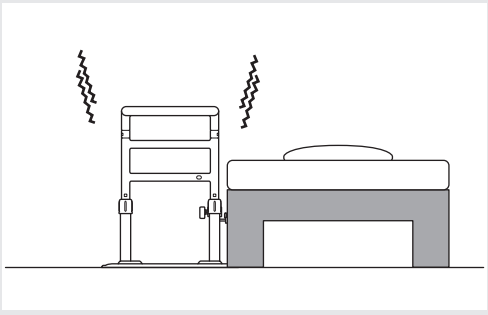
転倒やけがの原因になります。

・利用者が自分の身体で十分に安定させられない場合は、必ず介助者が付き添ってください。



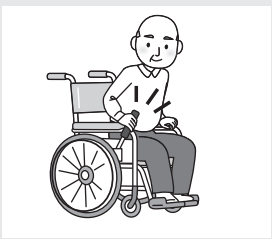
使用中にゆるみやガタつきが発生した場合は直ちに使用を中止して必ずお買い上げの販売店に相談すること

転倒やけがの原因になります。



車いすから移乗する場合は、車いすのブレーキをかけてから移乗すること

ブレーキをかけていないと、車いすが動きだし、転倒やけがの原因になります。



警告 誤った使いかたをすると**「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」**内容を説明しています。

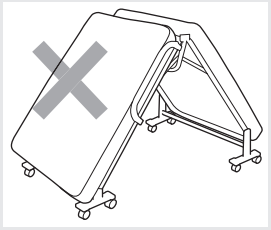
⃠ 絶対にしないこと ⃠

予測できない行動をとる利用者や、自力で危険な状態から回避することが難しい利用者には使用しないこと

利用者の心身状態や利用環境によって、誤って頭や手足、体の一部がはさまる可能性があり、場合によっては生命にかかわる事故につながるおそれがあります。十分なモニタリングとフィッティングをお願いいたします。

折りたたみベッドで使用しないこと

ベッド固定具が外れて、転倒やけがの原因になります。

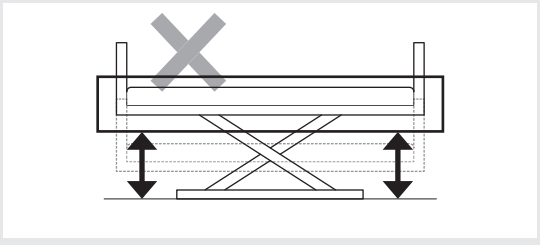


パイプベッドなどの軽量なベッドで使用しないこと

ベッド固定具が外れて、転倒やけがの原因になります。

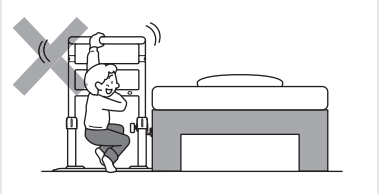
電動ベッドで昇降する部位には固定しないこと

ベッド固定具が外れて、転倒やけがの原因になります。



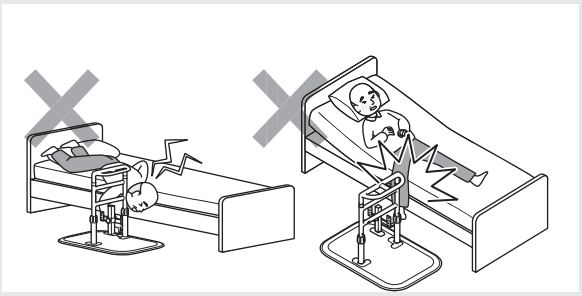
子ども、幼児を遊ばせないこと

転倒やけがの原因になります。



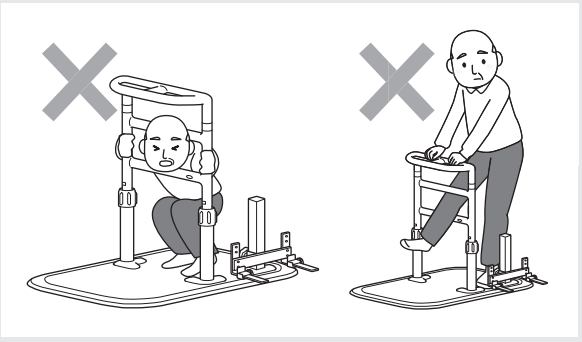
手すりとベッドの間に頭、体、手や足などを入れないこと

窒息やけがの原因になります。



手すりの間に頭、体、手や足などを入れないこと

窒息やけがの原因になります。



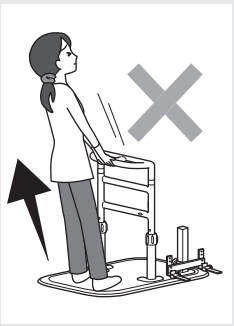
安全上のご注意

警告 誤った使いかたをすると**「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」**内容を説明しています。

絶対にしないこと

勢いよく力を加えたり、過度な力を加えたりしないこと

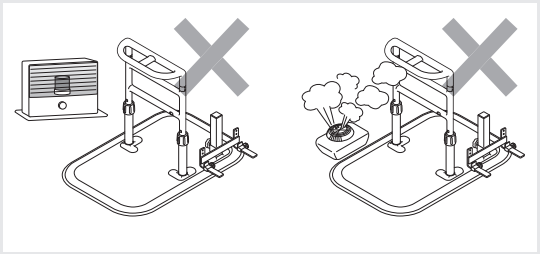
転倒やけがの原因になります。



不安定な場所や、近くに火気や水気がある場所には設置しないこと

・加湿器の蒸気が直接当たる場所
・浴室内など湿気の多い場所
・ストーブなど火気が近くにある場所
・直射日光の当たる場所
・床が平坦ではなく不安定な場所

火災・変形・変色などが起こり、場合によっては転倒やけがの原因になります。



体重が 100kg を超える方は使用しないこと

本体が破損し、転倒やけがの原因になります。

改造をしないこと
また、修理技術者以外の人は、分解したり修理したりしないこと

正常にはたらかず、けがの原因になります。

分解禁止

手、足、靴底がぬれた状態、また手すりなど製品がぬれた状態で使用しないこと

転倒やけがの原因になります。

⚠ 注意

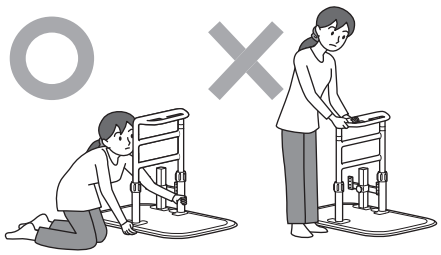
誤った使いかたをすると**「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」**内容を説明しています。

❗ 必ず行うこと ❗

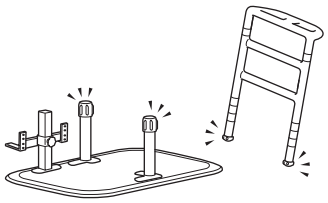
製品を移動させる際は、ベース板を持ち上げて移動すること

手すりを持って移動すると、破損する原因となり、引きずると床面が傷つく原因になります。

・ベース板を移動させる際は、ベース板と地面の間に手をはさまないよう注意すること

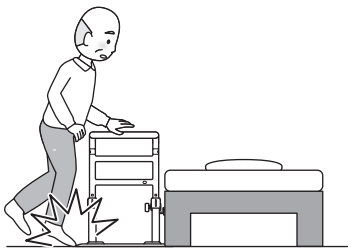


※重量が重いので、製品を移動させるときは手すりをベース板から外し､別々に運ぶことをおすすめします。



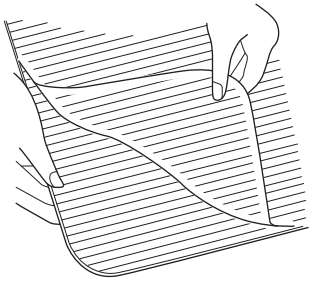
ベース板の段差につまずかないように注意すること

転倒やけがの原因になります。



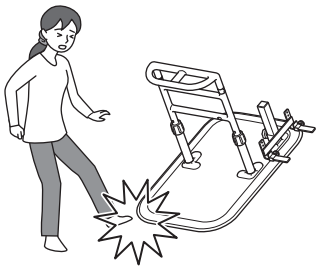
ご使用前にベース板用マットの吸着面保護フィルムを剥がすこと

転倒やけがの原因になります。



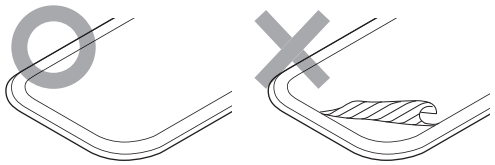
製品重量が重たいので、足に落下しないように注意すること

けがの原因になります。



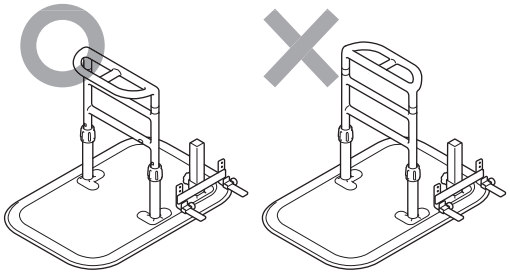
ベース板用マットを貼り付けた状態で使用すること

めくれた状態で使用すると、転倒やけがの原因になります。



手すりの向きは正しく取り付けること

体勢を崩して、けがの原因になります。



注意

誤った使いかたをすると**「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」**内容を説明しています。

絶対にしないこと

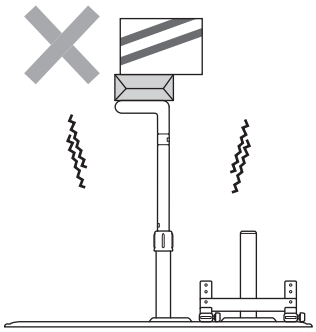
●お手入れ・保管時の注意　以下の行為をおこなうと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

・シンナー　・クレゾール　・熱湯
・酸、アルカリ性洗剤
・塩素系薬剤（洗剤）をかけての殺菌、消毒
・タワシ　・研磨剤入りのスポンジ
・磨き粉　・その他製品を傷つけるもの

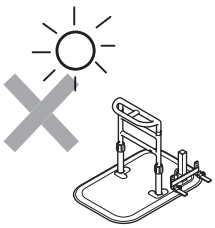
製品の上に重量物を乗せた状態で保管しないこと

製品が変形し、けがの原因になります。



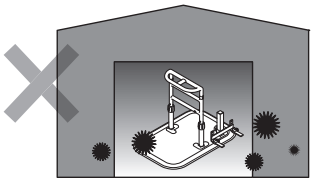
戸外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと

劣化および変色の原因になります。



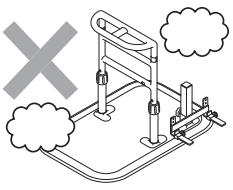
湿気の多い場所で保管しないこと

カビが発生する原因になります。



消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しないこと

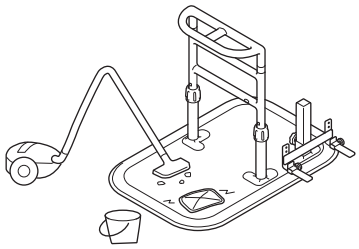
製品が破損する原因になります。



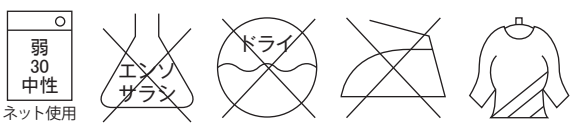
必ず行うこと

マット表面の汚れは掃除機や水拭きなどでふきとってください

劣化および変色の原因になります。



マットを洗濯機で洗う場合は、洗濯ネットを使用して 30˚以下の弱流水でおこない、中性洗剤を使用すること
また、洗濯後は日陰干しして、よく乾かしてから利用すること

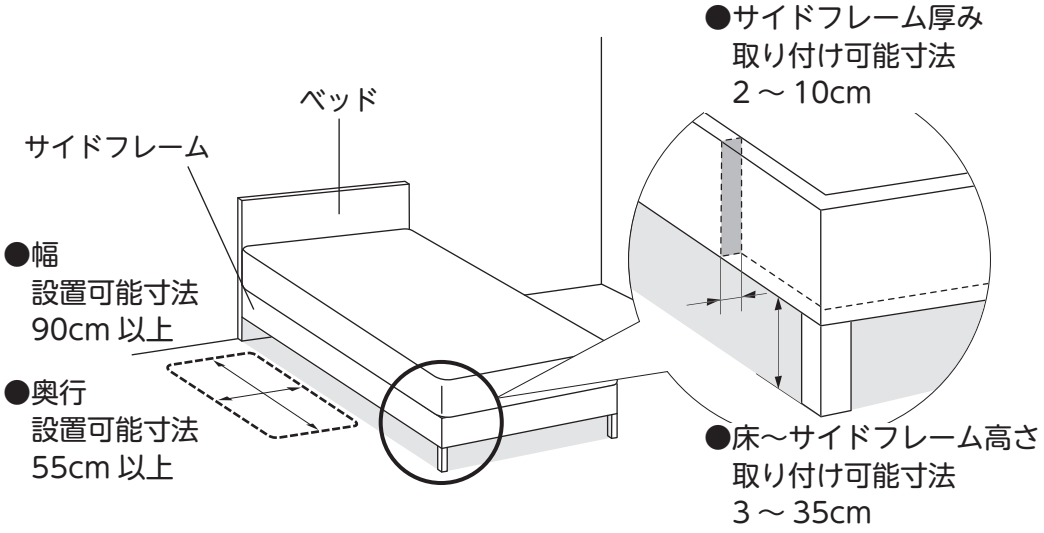


取り付ける前に

取り付けられるベッドに条件があります。
取り付け条件を満たすことを確認してください。

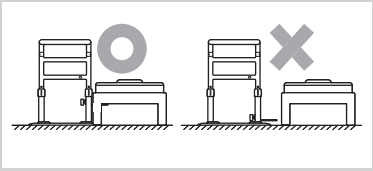
取り付け条件

1．取り付けるベッドサイドフレームの高さと、製品を置くスペースを確認します



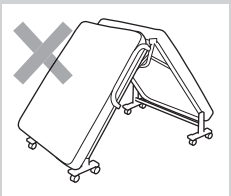
●必ず、ベッド固定具をベッドサイドフレームに固定して設置すること

手すりが外れて体勢を崩し、
転倒やけがをする原因になります。



●折りたたみベッドで使用しないこと

ベッド固定具が外れて、転倒やけがの原因になります。



準備するもの	●六角レンチ（6mm） ●六角レンチ（4mm） ●はさみ

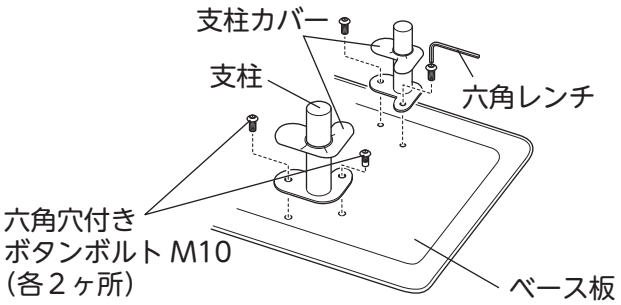
組み立てましょう

組み立てかたを
動画でご覧いただけます。

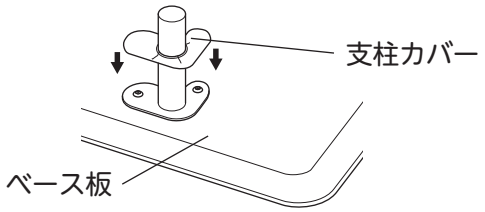
組み立てかた

1．支柱（左・右）をベース板に取り付けます

①左右の支柱をベース板に設置し、支柱カバーを持ち上げ、付属の六角穴付きボタンボルトM 10（各2ヶ所）で支柱をベース板に六角レンチ（6mm）で固定します。

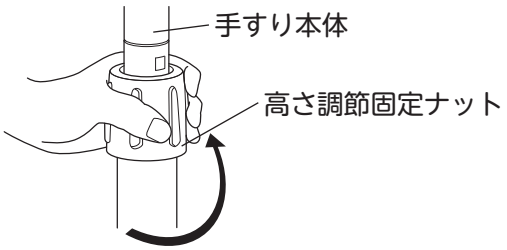


②支柱カバーを下げ、はめます。

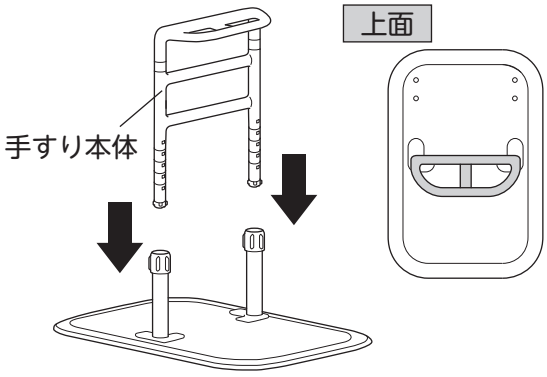


2．手すり本体を支柱に差し込みます

①左右の支柱にはめてある、高さ調節固定ナットをゆるめます。



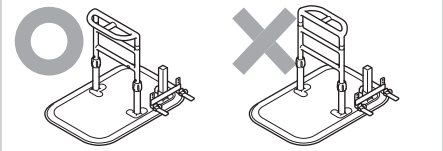
②支柱のＬ字の向きと、U型上段手すりの向きをイラストに合わせて手すり本体を差し込みます。



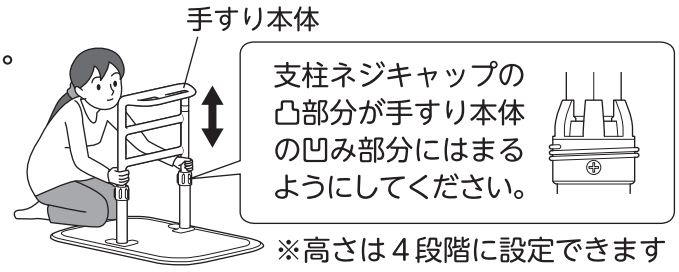
警告

手すりの向きは
正しく取り付けること

体勢を崩して、けがの原因になります。

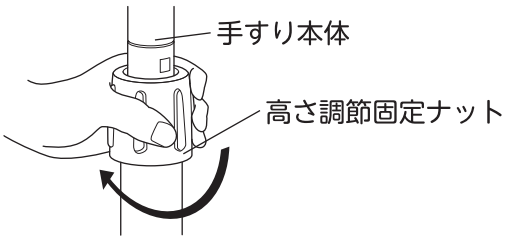


③手すり本体を持ちながら
任意の位置に高さを合わせます。



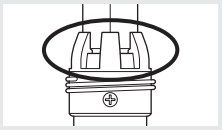
※高さは４段階に設定できます

④左右の高さ調節固定ナットをしめます。



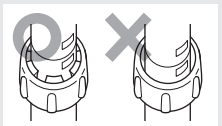
●支柱ネジキャップの凸部分が手すり本体の凹み部分にはまっているようにすること

体勢を崩して、けがの原因になります。



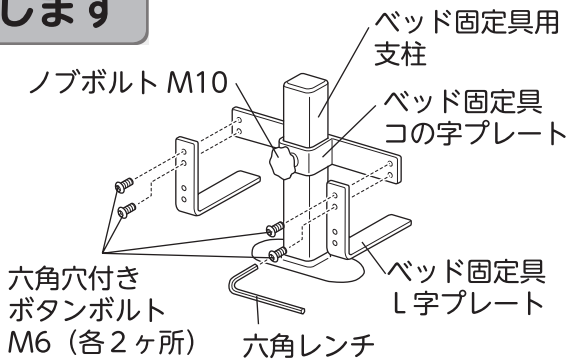
●高さ調節固定ナットをガタつきが少ないようにしめ付けること

手すりが不安定になり、けがの原因になります。

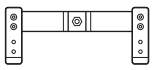
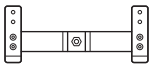
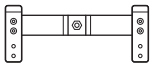
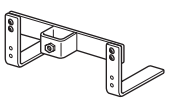
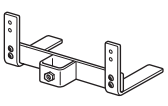
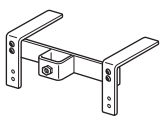
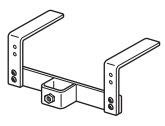


3．ベッド固定具をベース板に固定します

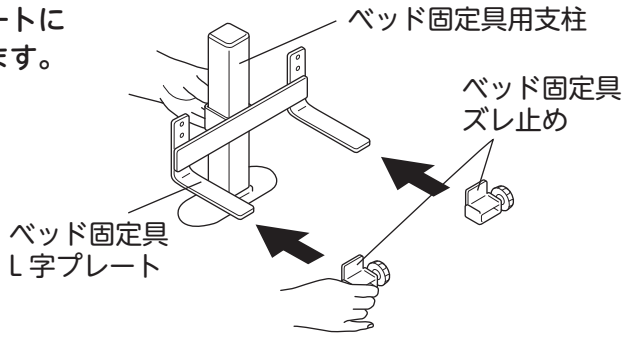
①六角穴付きボタンボルト M6（各２ヶ所）でベッド固定具コの字プレートとベッド固定具Ｌ字プレート（２個）を六角レンチでしめ付けます。



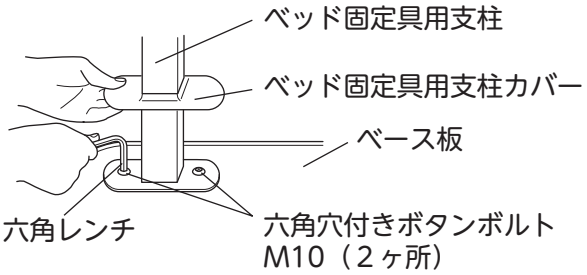
※ベッド固定具Ｌ字プレートの取り付け穴、向きによって、４パターン選択できます。
ベッドフレームの高さによって組み立てる形を選んでください。

ベッドサイドフレーム高さ	3～17cm	3～22cm	13～29cm	15～35cm
ボルト固定位置				
ベッド固定具形状				

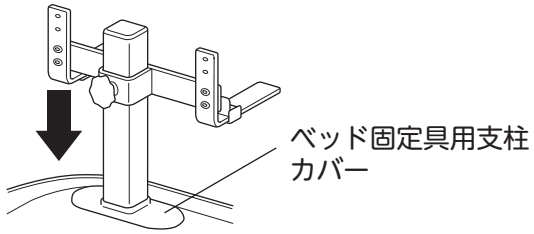
②組み立てたベッド固定具Ｌ字プレートに
ベッド固定具ズレ止めを差し込みます。



③ベッド固定具用支柱カバーを持ち上げ、
ベース板に六角穴付きボタンボルト M10
（２ヶ所）で固定します。

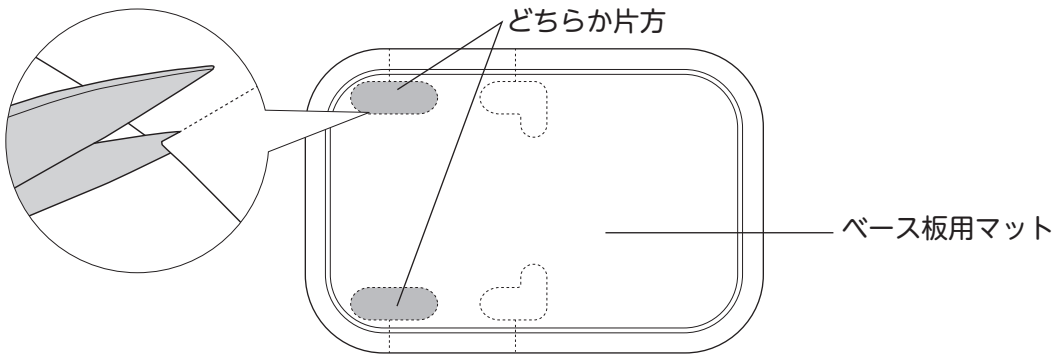


④ベッド固定具用支柱カバーを下げ、はめます。



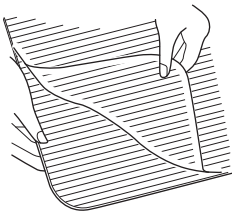
4．ベース板用マットを設置します

①左右の支柱やベッド固定具を取り付ける場所をミシン目に沿って、はさみで切り取ります。
※どちらか片方、実際に使う箇所のみ切り取ります。

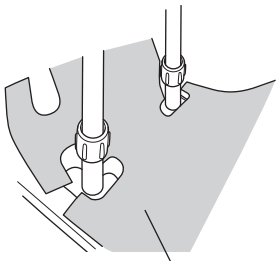


はさみを使うときは、指を切らないように注意すること

②裏面に貼ってある吸着面保護フィルムを剥がします。



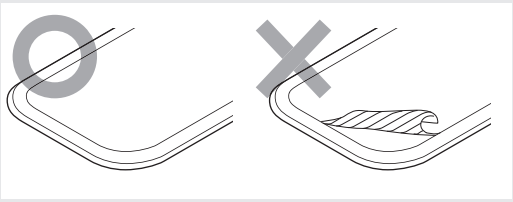
③手すりの間にマットを通して、中央部から端部に向けてベース板の上に乗せます。



ベース板用マット

ベース板用マットを貼り付けた状態で使用すること

めくれた状態で使用すると、転倒やけがの原因になります。



取り付けましょう

取り付け・取り外しは貸与されました販売店などでおこなっていただき、利用者や介助者などがおこなわないようにしてください。
しっかりと取り付けられていない状態で使うと、転倒の危険があります。

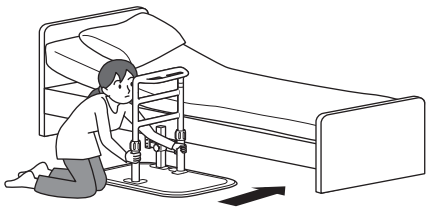
取り付けの手順

1．ベース板と支柱を持って、ベッドの隣に移動します

組み立てたADLサポートバーのベース板と支柱を持ちながら、ベッドサイドフレーム下部にベッド固定具L字プレートを差し込みます。

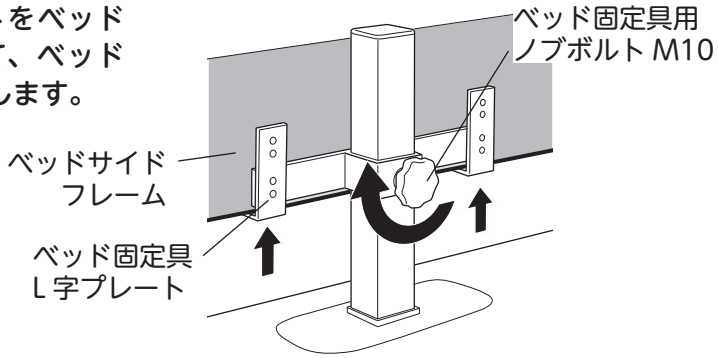
※設置位置は「設置の目安」を参照してください。

詳しくは…P.17へ

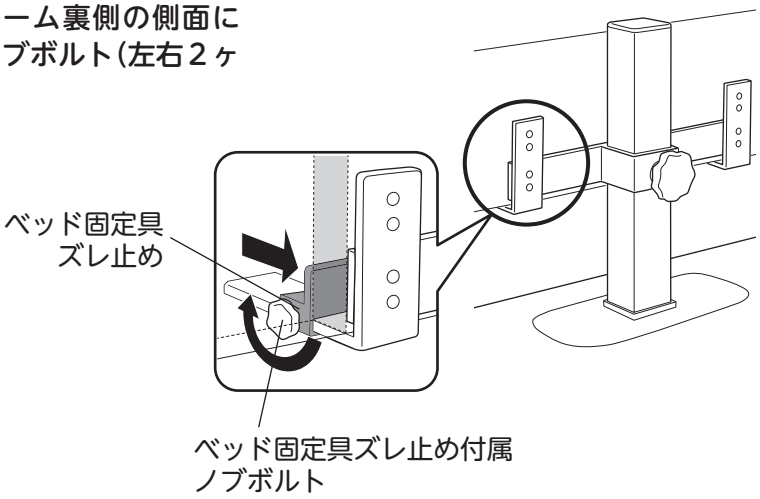


2．ベッドサイドフレームにベッド固定具を取り付けます

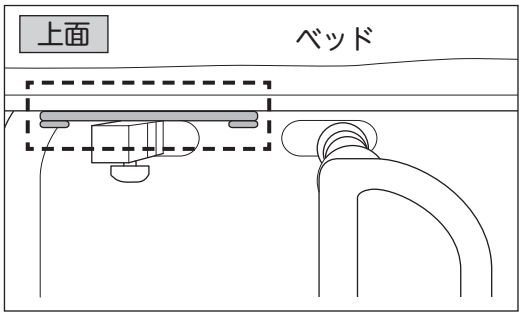
①ベッド固定具L字プレートをベッドサイドフレーム下部に当て、ベッド固定具用ノブボルトで固定します。

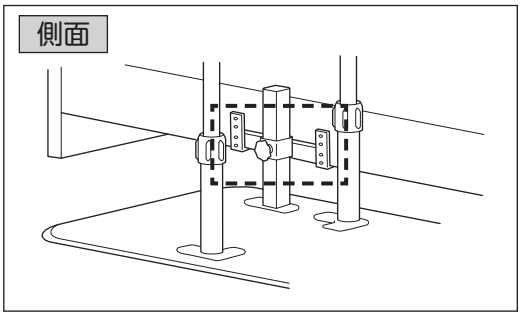


②裏側からベッド固定具ズレ止めをベッドサイドフレーム裏側の側面にあてがい、付属のノブボルト(左右2ヶ所）で固定します。



③上や側面から見た時にベッドサイドフレームに接しているか確認してください。

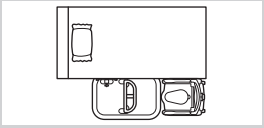




警告

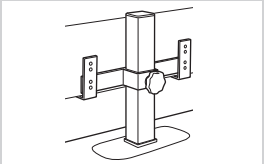
●ベッドに対して平行に設置すること

転倒やけがの原因になります。

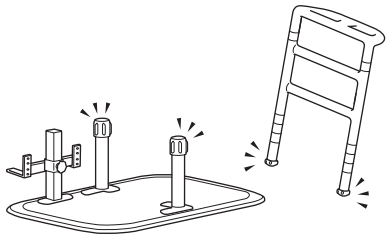


●ベッド固定具を固定して設置すること

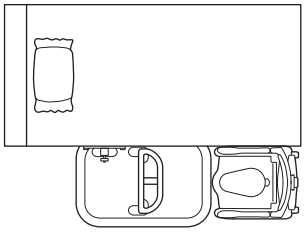
転倒やけがの原因になります。



重量が重いので、製品を移動させるときは手すりをベース板から外し、別々に運ぶことをおすすめします。



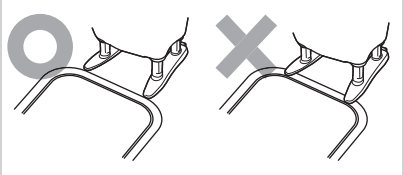
ポータブルトイレをお使いの方は、ベース板に接するように設置してください。



警告

ベース板の上にポータブルトイレを乗せないこと

段差につまづいたり、ポータブルトイレが不安定になり、転倒やけがの原因となります。



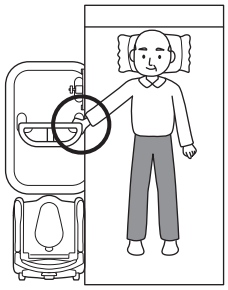
各部の調節をしましょう

●ご使用される方の体格や症状に合わせて、手すりの高さや、ベース板の位置を調節してください。
手すりの高さは工具を使わずに高さ調節できます。

●立ち座りや移乗がおこないやすいよう、利用する方の体格に合った設定をしてください。また、調節はお買い上げの販売店、ケアマネジャーなど専門家に相談することをおすすめします。

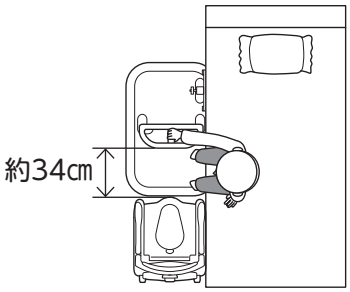
設定の目安

①ご利用者様がベッドに横になっている状態で、ADL サポートバーの縦手すり部分が届くようにします。



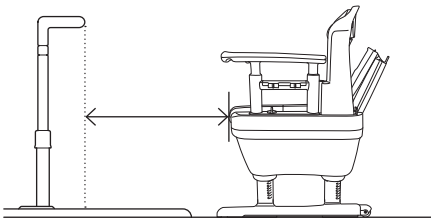
②ご利用者様がベッドに横になっている状態から、足を下ろせるように手すりとポータブルトイレの位置を調整します。

※ U 型上段手すり先端～ベース板端部まで約34cmあります。



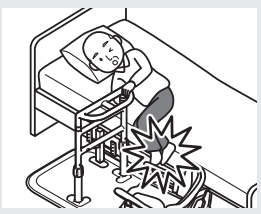
③住環境にもよりますが、動作を見ながら難しいようであれば、ポータブルトイレとの距離を調整してください。

※ U 型上段手すり先端～ポータブルトイレ便座先端部まで距離が開き過ぎると、着座する際に手すりが遠くなりますので、利用者の体格や動きに合わせて調整してください。



手すりとポータブルトイレの間に足を下ろすスペースを確保してください

ポータブルトイレに足が引っ掛かり、転倒やけがの原因になります。

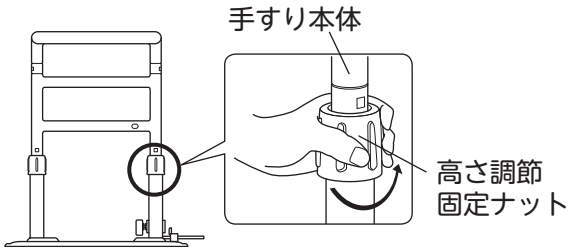


利用者の体格や動きに合わせて確認してください。

手すりの高さ調節のしかた

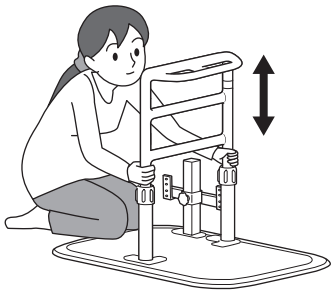
1．高さ調節固定ナットをゆるめます

左右の支柱にある高さ調節固定ナットをゆるめます。



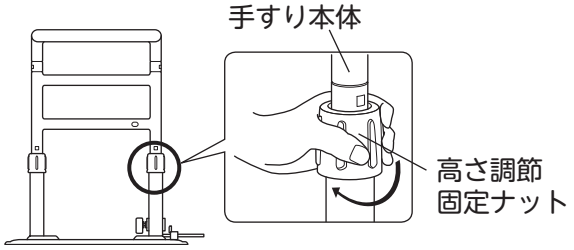
2．手すり本体を持って調節します

手すりを持ちながら任意の位置に高さを合わせます。



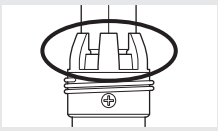
3．高さ調節固定ナットをしめます

左右の支柱にある高さ調節固定ナットをしめます。



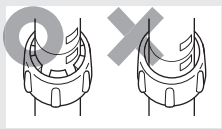
●支柱ネジキャップの凸部分が手すり本体の凹み部分にはまっているようにすること

体勢を崩して、けがの原因になります。



●高さ調節固定ナットをガタつきが少ないようにしめ付けること

手すりが不安定になり、けがの原因になります。

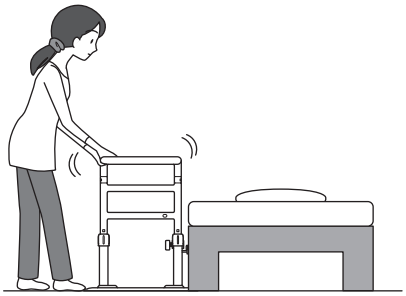


●利用者の体格や症状などを考慮しながら、高さの設定をすること

ご使用になる前に

ご使用の前に手すりやベッド固定具を軽くゆすり、
各部にガタつきなどの異常がないか点検すること。

詳しくは添付の「ご使用前点検シート」を
よく確認してください。



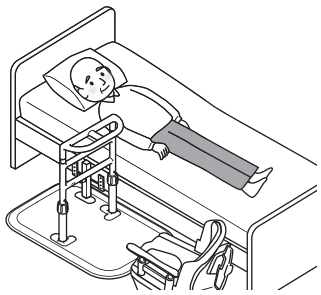
使いかた

記載された方法は、使いかたの一例です。
ご利用者様が持ちやすい、立ち上がりやすい箇所を持つようにご提案ください。

ポータブルトイレへの移乗

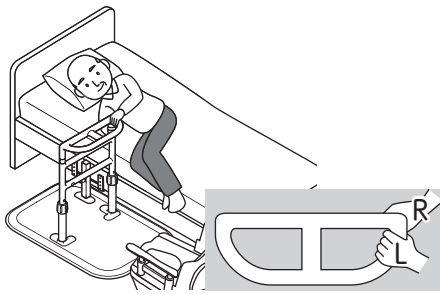
※L＝左手／R＝右手

①



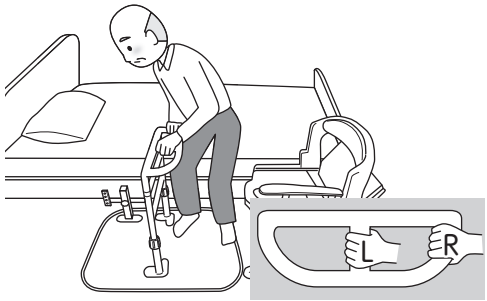
ベッドにあお向けで寝る。

②



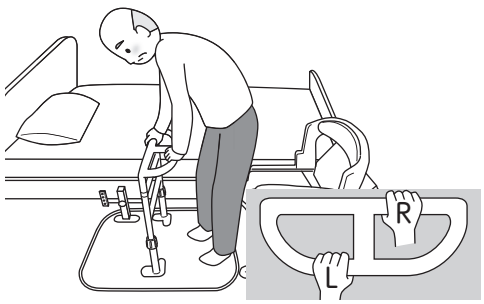
右手で縦手すり、
左手で湾曲部を握り、体を起こす。

③



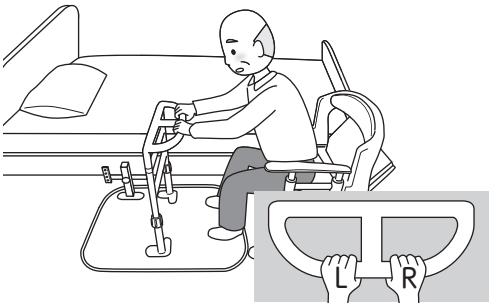
座った姿勢から立ち上がる。
右手で湾曲部を、左手でセンター
グリップを握り立ち上がる。

④



ポータブルトイレに座る。
右手でグリップ奥、左手で前グリッ
プを握り着座する。

⑤



両手で前グリップを握って
前傾姿勢をとる。

警告

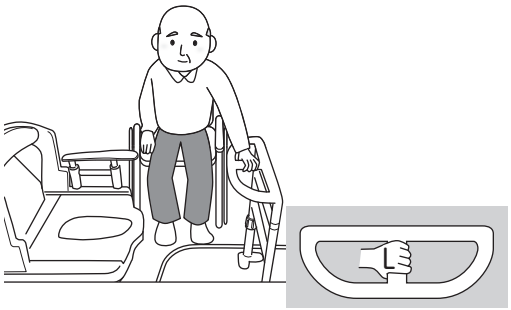
**立ち座りや移乗する際は、
ベース板に乗りながらおこなうこと**

体勢を崩して、けがの原因になります。

車いすからの移乗

※L＝左手／R＝右手

①



車椅子から立ち上がる。
左手でセンターグリップを握り
体を引っ張り上げる。

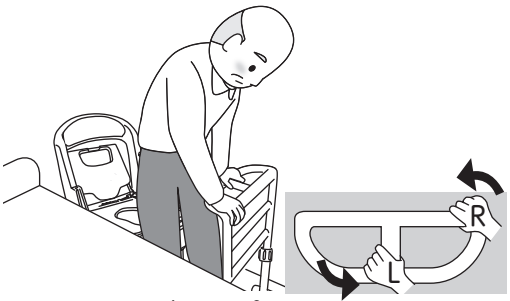
②

右手で前グリップを握り、左手を
グリップ奥に添える。

③

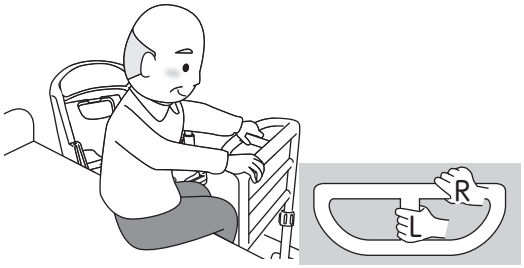
左手でグリップ湾曲部を握り、
右手は前グリップを握りながら
湾曲部へずらしていく。

④



左手を前グリップとセンター
グリップの間にかけ、右手を
グリップ奥に添える。

⑤



左手でセンターグリップ、右手で
グリップ奥を握り、体を引きながら
ベッドへ腰を落としていく。

使いかたの動作例を動画でご覧いただけます。

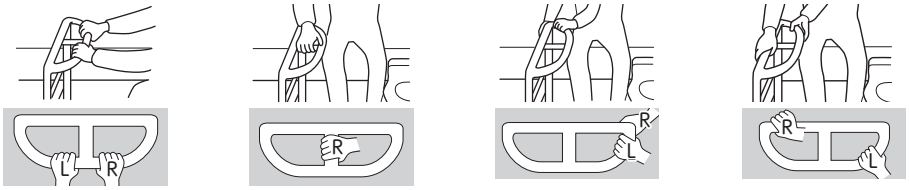
ポータブルトイレへの移乗例

❶ ❷ ❸

車いすへの移乗例

❹

U型上段手すりは様々な箇所を持つことができますので、ご利用者様が持ちやすい、立ち上がりやすい箇所を持つようにご提案ください。



お手入れしましょう

ADL サポートバーは、下記の手順に従ってこまめにお手入れしてください。

改造をしないこと
また、修理技術者以外の人は、分解したり修理したりしないこと

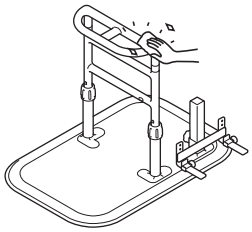
本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと
・塩素系洗剤　・タワシ　・酸、アルカリ性洗剤
・研磨剤入りのスポンジ　・シンナー　・磨き粉
・クレゾール　・塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒
・その他製品を傷付けるもの　・熱湯

製品が劣化し、けがの原因になります。

お掃除のしかた

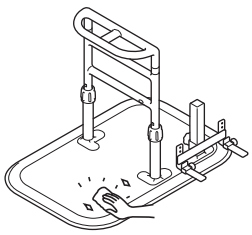
日常のお手入れ方法



（手すり、支柱、ベース板部分）

中性洗剤をうすめてスポンジか柔らかい布にふくませ汚れをとったあと、渇いた布で乾拭きしてください。

（ベース板用マット）



マット表面の汚れは掃除機や水拭きなど、裏面は水拭きなどでふきとったあと、乾いた布で乾拭きしてください。

（ベース板用マットを洗濯する場合）

マットを洗濯機で洗う場合は、洗濯ネットを使用して 30˚以下の弱流水でおこない、中性洗剤を使用してください。
また、洗濯後は日陰干しして、よく乾かしてからご利用ください。

消毒方法

消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
製品の消毒は、アルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します。
製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。

消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しないこと

製品が破損する原因になります。

保管時の注意

「安全上のご注意」をご確認ください。

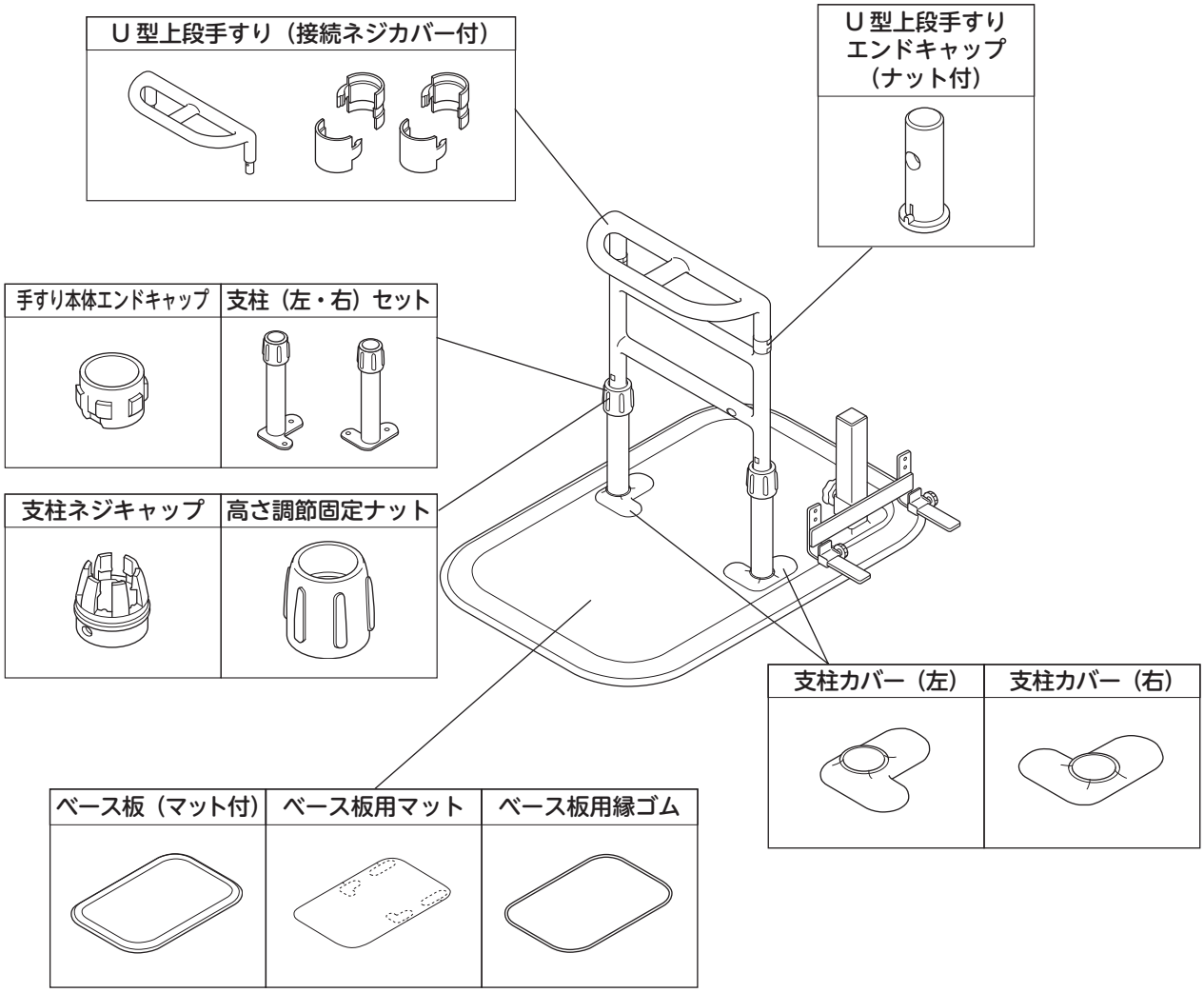
詳しくは…P. 9へ

点検のしかた

別紙「ご使用前点検シート」をご確認ください。

交換部品

部品交換は、販売店の修理技術者の方がおこなってください。
各部品が汚れたり、破損した場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

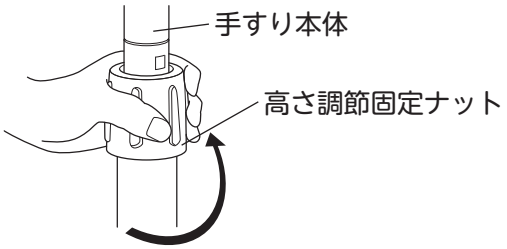


U型上段手すりの交換方法

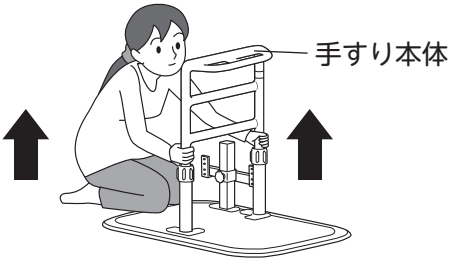
準備するもの	マイナスドライバー プラスドライバー（JIS 3 番）

1．手すり本体を支柱から取り外します

①左右の支柱にはめてある、高さ調節固定ナットをゆるめます。

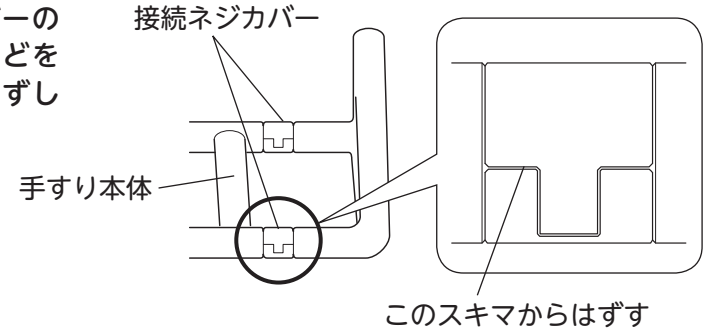


②支柱から手すり本体をぬきます。

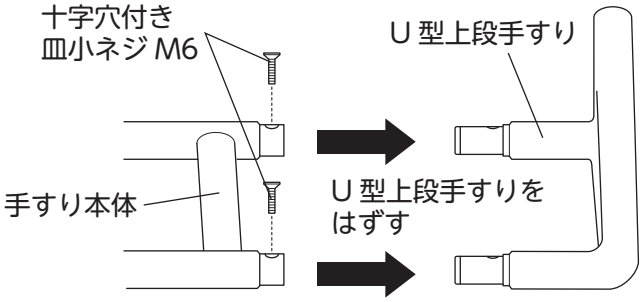


2．U型上段手すりをはずします

①手すり本体を横にして接続カバーのすき間にマイナスドライバーなどを差し込んで接続ネジカバーをはずします。

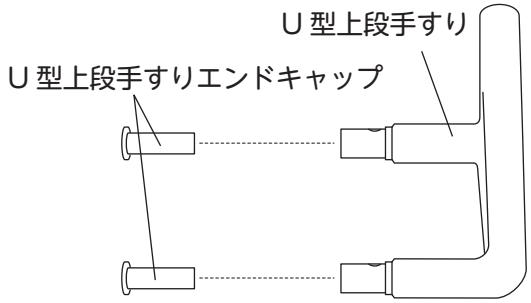


②プラスドライバー（JIS3 番）で十字穴付き皿小ネジ M6（２ヶ所）をはずします。



3．U型上段手すりエンドキャップとナットを取り外します

U型上段手すりエンドキャップをぬきます。
※キャップの中に六角ナットがはいっていますので、無くさないように注意してください。



4．逆の手順でU型上段手すりを交換して元に戻します

最後に、ネジがしっかりしめられ、ガタつきがないことを確認してください。

保証とアフターサービス

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の仕様などに関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。
技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社
お客様相談室 フリーダイヤル **0120−86−7735**
（受付時間）祝祭日以外の
月〜金 9:00〜17:00
（12:00〜13:00 は除く）

メモ

保証とアフターサービス よくお読みください

保 証 書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

1．修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2．ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
3．本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4．保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
   1）保証書のご提示がない場合。
   2）本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   3）使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
   4）お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
   5）火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、異常電圧、その他の天災地変による故障または損傷。
   6）ボルトなど消耗品の損傷及び汚れ。
   7）業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
5．本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6．保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

1）保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
   なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
2）修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

見本

★お買い上げ日	年　　月　　日
保 証 期 間	お買い上げ日より 1 年
お　客　様	ご住所　〒 ご芳名　　TEL
★販 売 店	住　所　〒 店　名　　TEL

この保証書はご使用できません

★ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

■保証書について

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見･お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル 0120-86-7735

（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）

製造・発売元

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL http://www.aronkasei.co.jp/ 安寿 検索

15.02　919061-1